

くにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい  
国立市地域福祉計画策定委員会  
ぎじろく  
議事録

だい かい れいわ ねん がつ にち  
(第9回 令和5年1月19日)



ぎじろく  
議事録

かい ぎ かい 名	だい かい くにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい 第9回 国立市地域福祉計画策定委員会
にち じ 時	れいわ ねん がつ にち もく ごご じ ふん じ ふん 令和5年1月19日(木) 午後7時00分から9時00分
ば しょ 場 所	くにたちしやくしよ かい いいんかいしつ 国立市役所2階 委員会室
出席者 しゅつせきしゃ	い いん 員 はやし ひろき やまぐち なおき そね なおき かねこ けんたろう はやし みずちか 林 大樹・山口 直樹・曾根 直樹・金子 健太郎・林 瑞哉 たかはし のりお いのうえ はるな ふじさわ ゆきお 高橋 しのぶ・山路 憲夫・井上 晴菜・藤沢 行男 いのつめ えみ こ 猪爪 恵美子
	じむきよく 事務局 けんこうふくしぶちよう ちいきほうかつ けんこう すいしんたんとうぶちよう 健康福祉部長、地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、 ふくし そうむかちよう ちいきふくしすいしんかかりちよう ちいきふくしすいしんかかりしゅにん 福祉総務課長、地域福祉推進係長、地域福祉推進係主任 ちいきふくしすいしんかかりしゅじ 地域福祉推進係主事
けっせきいん 欠席委員	なし
ぎ だい 議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>くにたちしだいさんじちいきふくしけいかく そあん へんこうてん かくにん 1. 国立市第三次地域福祉計画(素案)からの変更点の確認</li> <li>けいかく ふくだい 2. 計画の副題について</li> <li>くにたちしだいさんじちいきふくしけいかく どうしん あん かくにん 3. 国立市第三次地域福祉計画 答申(案)の確認</li> <li>しちよう どうしん 4. 市長への答申について</li> <li>た 5. その他</li> </ol>
こうかい ひこうかい べつ 公開・非公開の別	こうかい 公開
ぼうちようにん かず 傍聴人の数	めい 1名
しりよう 資料	<p>しりよう くにたちしだいさんじちいきふくしけいかく そあん いけん 資料1 国立市第三次地域福祉計画(素案)へのご意見</p> <p>しりよう くにたちしだいさんじちいきふくしけいかく そあん へんこうてん 資料2 国立市第三次地域福祉計画(素案)からの変更点</p> <p>しりよう かいていばん くにたちしだいさんじちいきふくしけいかく そあん へんこうてん 資料2 (改定版) 国立市第三次地域福祉計画(素案)からの変更点</p> <p>しりよう くにたちしだいさんじちいきふくしけいかく そあん 資料3 国立市第三次地域福祉計画(素案)</p> <p>しりよう けいかく ふくだい 資料4 計画の副題について</p> <p>しりよう くにたちしだいさんじちいきふくしけいかく どうしん あん 資料5 国立市第三次地域福祉計画 答申(案)</p>



だい かい くにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい  
第9回 国立市地域福祉計画策定委員会

はやしひろきいんちよう ていこく だい かいくにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい かいさい  
【林大樹委員長】 定刻となりましたので、第9回国立市地域福祉計画策定委員会を開催いたします。

そでは、次第1「国立市第三次地域福祉計画（素案）からの変更点の確認」です。事務局、お願  
いします。

じむきょく へんこうてん かくにん まえ ほんじつしりょう かくにん ほんじつ きじょう  
【事務局】 変更点の確認の前に、本日使用する資料の確認をさせていただきます。本日、机上にク  
リップ留めで配付させていただきました右上に資料②（改訂版）と書かれた「国立市第三次地域福祉  
けいかく そあん へんこうてん しりょう くにたちしちいきふくしけいかく ふくだい あん てんめ  
計画（素案）からの変更点」、資料④「国立市第三次地域福祉計画の副題（案）について」、3点目が、  
くにたちしちいきふくしけいかくとうしん あん いちばんふあつ てん ほんじつきじょうはいふ  
「国立市第三次地域福祉計画答申（案）」、一番分厚いものです。この3点を本日机上配付させていた

だいております。足りない方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

（なし）

じむきょく じぜん ゆうそう しりょう くにたちしちいきふくしけいかく  
【事務局】 あわせまして、事前に郵送させていただきました資料①「国立市第三次地域福祉計画  
そあん いけん しりょう くにたちしちいきふくしけいかく そあん へんこうてん てんめ くにたちし  
（素案）へのご意見」、資料②「国立市第三次地域福祉計画（素案）からの変更点」、3点目が、「国立市  
ちいきふくしけいかく そあん さっし てん しりょう しょう ほんじつ じぜん ゆうそう  
地域福祉計画（素案）の冊子」、この3点の資料も使用いたします。本日、事前に郵送させていただ  
しりょう なか わす かた  
いた資料の中でお忘れになられた方はいらっしゃいますでしょうか。

（なし）

じむきょく  
【事務局】 ありがとうございます。

そでは、「国立市第三次地域福祉計画（素案）からの変更点」について確認させていただきます。

委員の皆様におかれましては、事前資料にお目通しいたしまして、また事前に御意見をいただきま

して誠にありがとうございました。前回、第8回委員会において委員の皆様より中間答申をいただ

きました。いただきました中間答申を受けまして、委員長及び事務局で文言等の修正をさせていた

だしまして、お手元に御準備いただいております計画の素案を完成させました。

その後、お手元の資料①「国立市第三次地域福祉計画（素案）へのご意見」に記載のとおり、素案

に対し、まず、市役所内部における報告・説明、その次にパブリックコメント、その次に第4回定例会

福祉保険委員会への報告・説明、そして最後に市民意見交換会を通じて意見をいただきまして、少子化

やケアラー支援、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の記載等がないのではないか

との御意見がございました。

それを受けまして、計画素案から大きく4点について修正を行いました。計画素案の該当ページ

数をお伝えいたしますので、計画素案の冊子と、事前に郵送させていただいております資料②「国立市

第三次地域福祉計画（素案）からの変更点」を見比べていただきながら御確認をお願いいたします。

まず、1つ目の変更点ですが、計画素案の4ページ、資料②の1ページを御覧ください。パブリッ

クコメントを受けまして、資料②のグレーの網かけになっている内容を追加させていただいております。

す。

続きまして、2点目の修正点でございます。計画素案の35ページ、資料②は3ページを御覧ください。

「国立市の現状から見える課題」についてでございます。計画素案上の課題6では、高齢化の

みの記載としていたところでございますが、今回は、少子高齢化に変更いたしまして、グレーの網か

けの内容を追加させていただきます。

【林 大樹委員長】 グレーの網かけというのは、黄色くなっているところですか。

【事務局】 本日机上に配付したのではなく、事前に郵送させていただきました資料②、改訂版と

書かれていないものがグレーの網かけになっているものだと思いますので、そちらを一緒に御覧いただければと思います。少し分かりづらくて申し訳ございません。

続きまして、3つ目の修正点を御説明いたします。計画素案は36ページ、資料②は4ページを御覧

ください。こちらは先ほど同様「国立市の現状から見える課題」についてでございます。課題8の中

に、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の内容について、グレーの網かけの内容を

追加しております。

続いて、4点目でございます。4点目は、計画素案の61ページ、井上委員の計画素案は62ページ

となっていると思います。あと、資料②の5ページを御覧ください。ここは、基本目標2「施策の方針

4 地域住民と行政等の連携や協働の推進について」でございます。5ページの現状と課題、1

つ目の丸の「介護や生活支援を」からのグレーの網かけ部分を追加しております。資料②の6ページ

目、重点的に取り組んでいく施策の2-4-1、今後考えられる取組例の中に、グレーの網かけ部分

の内容を追加させていただきます。5ページ目の2つ目の丸も追加させていただいているとこ

ろです。

以上が資料①の内容を受けての変更点でございます。

資料①、②につきましては、事前に委員の皆様へ配付させていただきました、御確認いただいて、

ごいけん  
御意見をいただいております。おもと、ほんじつ、くば、しりょう、かいていはん、ごじゅんぴ  
資料②（改訂版）を御準備いた

ければと思います。こちらの資料は、委員の皆様から資料②について御意見をいただきまして、はんえい  
反映

ないよう、へんこうてん、てん、へんこうかしょ、きいろ、いろ、ごかくにん  
した内容でございます。変更点は5点ございます。変更箇所は黄色の色つきになっているので、御確認

いただければと思います。

てんめ、め、しりょう、あみ、さい、こ、う、そだ  
1点目は、3ページ目になります。資料②のグレーの網かけの際は「子どもを産み育てられる」と

きさい  
いう記載があったんですけども、こちらを「子どもを産める、地域の中で共に子どもを育てられる」

へんこう、き、め、しえん、つう、か、き、め  
へ変更しております。あわせまして、「切れ目のない支援を通じて」と書かれていたところを「切れ目

ないしえん、へんこう  
のない支援と」に変更しております。

てんめ、かた、しえん、ないよう、した、ぎょうめ、うえ、いこう  
2点目は4ページのしょうがいのある方への支援の内容です。下から2行目、「その上で」以降の

ないよう、ついか  
内容を追加しております。

てんめ、め、かだい、そうごうてき、そうだんしえん、じょうほうていきょう、いいん  
3点目は5ページ目、課題9、総合的な相談支援と情報提供というところでございます。委員よ

せいど、もんだい、かか、かた、なか、もんだい、おお、かさ  
り、制度のはざまの問題を抱えた方たちの中には、やはりメンタルヘルスの問題が多く重なっている

おお、ごいけん、かだい、なか、ないよう、ついか  
ことが多いという御意見をいただきまして、課題9の中にその内容を追加させていただいております。

ぶんしょう、きいろ、ないよう、ついか  
ももとの文章に黄色の内容を追加しているところでございます。

てんめ、め、さき、どうよう、きさい、へんこう、こ  
4点目でございます。7ページ目、こちら先ほど同様の記載に変更しております、「子どもを

う、そだ、きさい、こ、う、ちいき、なか、とも、こ、そだ、ないよう  
産み育てられる」という記載を「子どもを産める、地域の中で共に子どもを育てられる」という内容

へんこう  
に変更しております。

さいご、てんめ、め、あんしん、こ、う、そだ、あんしん、こ、う  
最後、5点目は8ページ目、「安心して子どもを産み育てられるよう」を「安心して子どもを産める、



ちいき なか とも こ そだ へんこう よ そ しえん つう しえん  
地域の中で共に子どもを育てられるよう」に変更しており、あわせまして「寄り添い支援を通じた支援

たいせい せいび よ そ しえん そうだん しえんたいせい せいび もんごん へんこう  
体制の整備」を「寄り添い支援と相談・支援体制の整備」という文言に変更しております。

わ おも いじょう いいん みなさま こいけん う  
分かりづらいところもあったと思うんですけども、以上が委員の皆様からの御意見を受けての

へんこうてん しりょう かいていばん きいろ いろ ないよう  
変更点でございます。資料②（改訂版）の黄色く色づけをさせていただきました内容につきまして、

いいん みなさま こいけん さいわ ねが  
委員の皆様より御意見をいただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

はやしひろきいんちよう じむきょく けいかくそあん へんこうてん せつめい  
【林大樹委員長】 ありがとうございます。事務局より計画素案からの変更点について説明があり

しりょう かいていばん へんこうてん きいろ あみ ぶぶん こいけん ごしつもん  
ました。資料②（改訂版）の変更点、黄色い網かけになっている部分について御意見や御質問はござ

いますでしょうか。

いのうえいいん かだい しょうしこうれいか しんこう ともな たいおう しえん いけん かぞく こ  
【井上委員】 課題6、少子高齢化の進行に伴う対応・支援について意見があります。家族だけが子

そだ こ くる かぞく ちいき こ そだ すべ こ  
どもを育てると子どもも苦しいです。家族だけじゃなくて、地域で子どもを育てるまち、全ての子ど

しあわ そだ ぶんしょう  
もが幸せに育つまちになってほしいです。文章はこれでいいです。

はやしひろきいんちよう へんこう ぶんしょう  
【林大樹委員長】 ありがとうございます。変更された文章でよろしいということですね。

そ ね いいん しりょう かいていばん そうごうてき そうだんしえん じょうほうていきょう せいかつ  
【曾根委員】 資料②（改訂版）の5ページですけども、「総合的な相談支援と情報提供」で、「生活

かだい ふくざつか ふくごうか せいど はざま もんたい  
課題が複雑化・複合化しており、ダブルケアやヤングケアラー、ひきこもりなど制度の狭間の問題を

かか かた そうか ぶぶん いぞんしょう なか い  
抱えた方が増加しており」という部分なんですけれども、依存症をこの中に入れられないかなとい

ごていあん  
う御提案です。

さいきん わたし いぞんしょうかいふくしゃ かた けっこう も いぞんしょう  
最近、私は依存症回復者の方たちと結構つながりを持たせてもらえるようになりまして、依存症

いぞん いぞん かいものいぞん さまざま いぞんしょう ひじょう くる  
は、アルコール依存とか、ギャンブル依存とか、買物依存とか、様々な依存症があって非常に苦しい

でいるんですね。そうした人たちは、依存症の中間の人たちと一緒に相互支援をしながら回復していくということが結構、自助グループという言われ方の中でかなり効果があるということが実感されまして、いろんな計画を見ても依存症のことが入っている計画というのが見当たらないなと思って、もし可能でしたらこの間口が広い地域福祉計画の中で依存症というのをに入れていただいて、依存症の回復支援についても国立市で取り組んでいただけないかなといった趣旨です。

【林大樹委員長】 今の曾根委員からの御意見について、事務局はいかがですか。

【事務局】 今、曾根委員からお話いただきました依存症につきましては、こちらに載せることも可能ですので、もしそういう形であれば追加させていただきたいと思います。

【金子委員】 特に35ページに当事者グループのことが少し書いてあって、そこに多少依存症のことが書いてあるので、そちらのほうに載せたらよりいいのかなという感じがいたしました。課題9のほうに入れたほうがいいのか、課題5のほうに少し広げて入れたらいいのか、その辺は事務局にお任せしてよろしいですか。アルコール依存のことしか書いていないので。

【曾根委員】 両方に入れていただく……。相談窓口のほうに。自助グループのことは35ページで。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。それでは、両方に入れるということで。

【高橋委員】 今の35ページというのが見つけれないんですが……。

課題9のメンタルヘルスのことを意見させていただいたのは私なんですけれども、今、曾根委員がおっしゃられたような依存症のことも、私も自分が関係している団体で、特にコロナ禍で本当にさら

いぞんしょう あっか かた ほんとう いぞんしょう か  
に依存症が悪化している方もたくさんいらっしゃいますし、本当に依存症だけでなく、ここに書いて

せいど もんだい けんざいか はいけい かたち  
あるような制度のはざまの問題が顕在化している背景そのものにメンタルヘルス、いろんな形の

いぞんしょう ふく うつ た ふちょう かさ ひそ  
依存症も含め、鬱もそうだし、その他もろもろメンタルヘルスの不調が重なってというか、潜んでい

おお いみ せいしん い かた  
るということが多くあるのではないかという意味で、それは精神しょうかいと言われていた方たちだ

ひろ いっぱんしみん かた おお もんだい きょうつう おお きき  
けではなく、広く一般市民の方たちにとっても大きな問題、共通する大きな危機ではないかという

いみ の いけん だ  
意味で載せたらどうでしょうかという意見を出したんですね。

さんせい こま か か なに たいさく かんが め  
なので、もちろん賛成というか、細かく書けば書くほど何か対策を考 えるときに目にもとまります

さき けいかく うご だ くたいき しさく はんえい おも か か  
し、これから先、計画が動き出していくときの具体的な施策にも反映されると思うので、書けば書く

おも  
ほどいいと思います。

やまじいいん いま かしょ たかはしいん ごせつめい なん わ き  
【山路委員】 今の箇所について、高橋委員の御説明で何となく分かったような気がしますが、ただ、

たかはしいん ごせつめい き よ みやくらく か  
高橋委員の御説明を聞くまでは、これを読むだけではどういう脈絡でこれが書かれているのかとい

わ ふちょう もんだい か こ  
うのがよく分からなかったものですから、メンタルヘルスの不調だけではなくて、この問題は書き込

か こ りゆう おも かくさしゃかい ともな せいかつこんきゅう もんだい  
んだら書き込むほどいろんな理由があると思うのですが、格差社会、それに伴う生活困窮の問題と

きぞん ほうりつせいど もんだい どうじ ふちょう か  
か、既存の法律制度の問題とか、そういうことと同時にメンタルヘルスの不調もあると書けばもっと

わ ふちょう かんけい ばあい  
分かりやすいのではないかと。メンタルヘルスの不調が関係している場合もありますということだけ

か いわかん かん か むすか  
を書くと、やや違和感を感じたということです。どういふうに書くのかは難しいですけども、

ごけんとう おも  
御検討いただければと思います。

たかはしいん やまじいいん わだし じつ いけん だ じむきょく かた  
【高橋委員】 山路委員のおっしゃったことは、私 も実は意見を出したときに、事務局の方とすぐく

悩<sup>なや</sup>みまして、私<sup>わたし</sup>の意<sup>い</sup>図<sup>と</sup>している思<sup>おも</sup>いとしては、制<sup>せい</sup>度<sup>ど</sup>のはざまの問<sup>もん</sup>題<sup>だい</sup>を抱<sup>かか</sup>えている方<sup>かた</sup>の背<sup>はい</sup>景<sup>けい</sup>に、かなりメンタルヘルスとい<sup>きょうつう</sup>うこ<sup>おこ</sup>とが共<sup>きょうつう</sup>通<sup>おこ</sup>して起<sup>おこ</sup>っているのではないかとい<sup>わたし</sup>うこ<sup>ひ</sup>とを、私<sup>わたし</sup>の日<sup>ひ</sup>頃<sup>ころ</sup>の实<sup>じっ</sup>践<sup>せん</sup>の中<sup>なか</sup>で感<sup>かん</sup>じているので、起<sup>お</sup>きているこ<sup>め</sup>と、目<sup>め</sup>に見<sup>み</sup>えているこ<sup>め</sup>とは、ダブ<sup>だ</sup>ルケ<sup>る</sup>アと<sup>か</sup>ヤ<sup>や</sup>ングケ<sup>る</sup>アラーと<sup>か</sup>ひきこもりと<sup>か</sup>、そ<sup>じょう</sup>うい<sup>きょう</sup>う状<sup>お</sup>況<sup>お</sup>が起<sup>おこ</sup>きているん<sup>はい</sup>だ<sup>けい</sup>けれど<sup>こ</sup>も、そ<sup>こん</sup>の背<sup>てい</sup>景<sup>てい</sup>とい<sup>こ</sup>うか、根<sup>こん</sup>底<sup>てい</sup>の<sup>じつ</sup>と<sup>こ</sup>ろに<sup>じつ</sup>実<sup>じつ</sup>はメンタルヘルスの不<sup>ふ</sup>調<sup>ちよう</sup>とい<sup>ふ</sup>うもの<sup>か</sup>が関<sup>かん</sup>わ<sup>か</sup>っているん<sup>い</sup>じ<sup>と</sup>ゃ<sup>わ</sup>た<sup>し</sup>し<sup>は</sup>な<sup>は</sup>ないかとい<sup>い</sup>う意<sup>い</sup>図<sup>と</sup>で私<sup>わたし</sup>は<sup>は</sup>お話<sup>わ</sup>し<sup>は</sup>したん<sup>は</sup>です<sup>な</sup>が、そ<sup>じむ</sup>れを<sup>きょく</sup>ど<sup>か</sup>のよ<sup>な</sup>うに文<sup>ぶん</sup>脈<sup>みやく</sup>にの<sup>か</sup>せ<sup>な</sup>て<sup>な</sup>い<sup>な</sup>かとい<sup>か</sup>うこ<sup>な</sup>は、す<sup>じむ</sup>ぐ<sup>きょく</sup>く<sup>か</sup>事務<sup>な</sup>局<sup>な</sup>の方<sup>な</sup>も悩<sup>な</sup>ま<sup>な</sup>れて<sup>な</sup>いま<sup>な</sup>した<sup>な</sup>し、私<sup>わたし</sup>も、ど<sup>いち</sup>う<sup>ばん</sup>し<sup>た</sup>ら一<sup>いち</sup>番<sup>ばん</sup>伝<sup>でん</sup>わり<sup>わり</sup>や<sup>やす</sup>い<sup>か</sup>とい<sup>い</sup>うこ<sup>こ</sup>は、す<sup>む</sup>ぐ<sup>く</sup>く<sup>な</sup>無<sup>む</sup>責<sup>せき</sup>任<sup>にん</sup>で申<sup>もう</sup>し<sup>わけ</sup>訳<sup>わけ</sup>ない<sup>い</sup>の<sup>こ</sup>です<sup>ま</sup>が、困<sup>こま</sup>った<sup>と</sup>ころ<sup>も</sup>あ<sup>つ</sup>た<sup>の</sup>で、逆<sup>ぎやく</sup>に<sup>の</sup>こ<sup>の</sup>う<sup>の</sup>い<sup>の</sup>う<sup>の</sup>ふ<sup>の</sup>うに<sup>の</sup>載<sup>の</sup>せ<sup>の</sup>た<sup>の</sup>ら<sup>の</sup>い<sup>の</sup>い<sup>の</sup>ん<sup>の</sup>じ<sup>の</sup>ゃ<sup>の</sup>ない<sup>の</sup>かとい<sup>の</sup>う<sup>の</sup>御<sup>ご</sup>意<sup>い</sup>見<sup>けん</sup>があ<sup>つ</sup>たら<sup>ら</sup>、ぜ<sup>ひ</sup>お<sup>お</sup>知<sup>ち</sup>恵<sup>え</sup>を<sup>か</sup>貸<sup>か</sup>して<sup>お</sup>い<sup>ち</sup>だ<sup>か</sup>け<sup>か</sup>た<sup>か</sup>ら<sup>お</sup>も<sup>お</sup>つ<sup>ち</sup>て<sup>ち</sup>いま<sup>ち</sup>す。

【林<sup>はやし</sup>大<sup>ひろ</sup>樹<sup>きい</sup>委<sup>いん</sup>員<sup>ちよう</sup>長<sup>ちよう</sup>】 あり<sup>じむ</sup>が<sup>きょく</sup>と<sup>た</sup>う<sup>す</sup>ご<sup>ず</sup>い<sup>ま</sup>す。ち<sup>ま</sup>よ<sup>ど</sup>と<sup>ち</sup>事務<sup>じむ</sup>局<sup>きょく</sup>にお<sup>た</sup>尋<sup>た</sup>ね<sup>す</sup>で<sup>す</sup>が、<sup>ふ</sup>く<sup>ふ</sup>く<sup>ふ</sup>窓<sup>まど</sup>口<sup>ぐち</sup>等<sup>とう</sup>の<sup>そう</sup>総<sup>そう</sup>合<sup>ごう</sup>相<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>の<sup>まど</sup>窓<sup>ぐち</sup>口<sup>ぐち</sup>にお<sup>い</sup>て<sup>は</sup>、メンタルヘルスの不<sup>ふ</sup>調<sup>ちよう</sup>が<sup>ひ</sup>潜<sup>ひそ</sup>んで<sup>い</sup>る<sup>み</sup>た<sup>い</sup>な<sup>こ</sup>とに<sup>たい</sup>対<sup>たい</sup>する<sup>たい</sup>対<sup>たい</sup>応<sup>おう</sup>とい<sup>う</sup>のは<sup>や</sup>ら<sup>れ</sup>て<sup>い</sup>る<sup>の</sup>か、あ<sup>る</sup>い<sup>は</sup>ま<sup>だ</sup>そ<sup>こ</sup>が<sup>た</sup>足<sup>た</sup>り<sup>な</sup>い<sup>か</sup>ら<sup>そ</sup>こ<sup>も</sup>こ<sup>の</sup>よ<sup>う</sup>に<sup>か</sup>書<sup>か</sup>いて<sup>総</sup>合<sup>そう</sup>的<sup>てき</sup>な<sup>そう</sup>相<sup>だん</sup>談<sup>しえん</sup>支<sup>なか</sup>援<sup>えん</sup>の中<sup>なか</sup>で<sup>と</sup>取<sup>と</sup>り<sup>く</sup>組<sup>く</sup>んで<sup>い</sup>き<sup>たい</sup>とい<sup>う</sup>、こ<sup>の</sup>メンタルヘルスの不<sup>ふ</sup>調<sup>ちよう</sup>とい<sup>う</sup>の<sup>い</sup>を<sup>い</sup>入<sup>い</sup>れる<sup>こ</sup>とは<sup>い</sup>ど<sup>ん</sup>な<sup>い</sup>み<sup>が</sup>あ<sup>り</sup>ま<sup>す</sup>か。

【事務<sup>じむ</sup>局<sup>きょく</sup>】 メンタルヘルス不<sup>ふ</sup>調<sup>ちよう</sup>につ<sup>き</sup>ま<sup>し</sup>て<sup>は</sup>、今<sup>いま</sup>、高<sup>たか</sup>橋<sup>はし</sup>委<sup>いん</sup>員<sup>はなし</sup>か<sup>ら</sup>も<sup>お</sup>話<sup>わ</sup>が<sup>あ</sup>り<sup>ま</sup>した<sup>と</sup>お<sup>り</sup>、ど<sup>う</sup>い<sup>う</sup>ふ<sup>う</sup>に<sup>き</sup>ざ<sup>い</sup>して<sup>い</sup>く<sup>か</sup>とい<sup>う</sup>の<sup>は</sup>す<sup>ぐ</sup>く<sup>な</sup>悩<sup>な</sup>んだ<sup>と</sup>こ<sup>ろ</sup>で<sup>ご</sup>ざ<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>。とい<sup>う</sup>の<sup>は</sup>、い<sup>ろ</sup>ん<sup>な</sup>と<sup>こ</sup>ろに<sup>ふ</sup>メンタルヘルスの不<sup>ふ</sup>調<sup>ちよう</sup>とい<sup>う</sup>の<sup>は</sup>関<sup>かん</sup>わ<sup>つ</sup>て<sup>く</sup>る<sup>だ</sup>ら<sup>う</sup>とい<sup>う</sup>こ<sup>と</sup>も<sup>ご</sup>ざ<sup>い</sup>ま<sup>し</sup>た<sup>の</sup>で、悩<sup>な</sup>んだ<sup>と</sup>こ<sup>ろ</sup>で<sup>ご</sup>ざ<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>。

ふくふく窓口とかで相談に乗るときでも、メンタルヘルスの不調ということで相談に来るのかとい  
うと、そういう人もあるかもしれないんですが、話を聞く中でそういう状況だという方もいます  
います。そういった方に対しては話を聞いていくという対応はしていると思うんですが、実際にメン  
タル不調ということを前面に出して相談を受けるということは、今の現状ではしていないところだ  
と思っております。

【林大樹委員長】 この箇所は、もしもう少し言葉を足したりしたほうがいいのかと思います  
が、ただ、高橋委員と事務局の間でかなり練られた上でのこういう文章というのであれば、このあ  
たりでよろしいということでしょうか。

【金子委員】 先ほど山路委員から、生活困窮とか制度のというお話もあったので、それを入れる  
かどうかということが1点と、関係する場合があるからどうするということだと思えます。そこ  
を気をつけなければいけないというふうに書くのであればそのままのいいのかなと、文章の脈絡  
からそう思いました。付け加えるか、そういう場合はどういうふうに対応するか、丁寧に対応するみ  
たいなことを付け加えたらどうかと、今思いついたのはそういうところでございます。

【林大樹委員長】 これは事務局のほうでももう少し考える必要があるかもしれないので、各委員の  
意見を参考に、このままでいいか、あるいはちょっと付け加えるかというあたりを検討していただ  
ければと思います。

【曽根委員】 メンタルヘルス不調は、厚生労働省では次のように定義してまして、「精神及び行動  
のしょうがい

しんしん けんこう しゃかいせいかつおよ せいかつ しつ えいきょう あた かのうせい せいしんてきおよ こうどうじょう もんだい はびひろ  
の心身の健康、社会生活及び生活の質に影響を与える可能性のある精神的及び行動上の問題を幅広く

ふく ろうどうしゃ しょくば  
く含むもの。」だから、労働者となっているのは職場のメンタルヘルスのサイトだからなんですけれど

も、メンタルヘルス不調というのは状態像を指しているみたいなんです。そうすると、メンタルヘル

スの不調が関係しているというよりも、こういった問題がメンタルヘルス不調を招いているといいま

すか、そういった言葉の使い方になるのかなと思いました。そうすると、そういったメンタルヘルス

ふちょう かか ひと まどくち そうだん く じゅうぶん そうてい おも  
不調を抱えている人がふくふく窓口に相談に来るとするのは十分に想定されることだと思えますの

で、そんな形で文章を構成していくのはいかがかなと思いました。

はやしひろきいんちょう ごしてき おも いま てん なに  
【林大樹委員長】 ありがとうございます。御指摘をいただいたと思いますが、今の点について何か

ございますか。

じむきょく いま そ ね い い ん は な も ん だ い な か ふ ち ょ う  
【事務局】 今、曽根委員からお話いただいたように、こうした問題の中にメンタルヘルス不調を

まね もんごん すこ しゅうせい おも  
招いているという文言で少し修正していければと思うのですが、それでよろしいでしょうか。

はやしひろきいんちょう  
【林大樹委員長】 よろしいですか。

それでは、そういう方向で事務局で預かっていただければと思います。

そ ね い い ん じ ぜん ゆうそう そ あ ん か だ い  
【曽根委員】 事前に郵送されてきた素案の 35 ページの課題5ですが、「ひきこもりやアルコール

いぞん どうじしゃどうし つど ばしよ いぞん わたし ていあん  
依存などの当事者同士が集える場所」、アルコール依存はたしか私が提案させてもらったんですけれ

ども、さっきの5ページと平仄を合わせて、「ひきこもりや依存症などの当事者同士が」というふう

に、アルコール依存ばかりではなく、薬物依存とかもありますので、依存症というふうにしていただ

ことば おも  
くと言葉がそろっていいのではないかと思います。

【林大樹委員長】 はやしひろきいんちょう ありがとうございます。では、その点<sup>てん</sup>についてはそのように。

ほかにいかがですか。よろしいでしょうか。

それでは、変更点<sup>へんこうてん</sup>が何か所<sup>なん しょ</sup>がありました。これから変更点<sup>へんこうてん</sup>を直すところ<sup>なお</sup>があったのですが、そこは

事務局<sup>じむきょく</sup>にお任せ<sup>まか</sup>するということ<sup>かくてい</sup>で確定してよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、何か所<sup>なん しょ</sup>かの変更点<sup>へんこうてん</sup>については事務局<sup>じむきょく</sup>にお任せ<sup>まか</sup>するということ<sup>かくてい</sup>で

確定<sup>かくてい</sup>したい<sup>おも</sup>と思います。

井上委員<sup>いのうえいん</sup>は。

【井上委員】 だいじょうぶ 大丈夫です。

【林大樹委員長】 はやしひろきいんちょう いいですか。

それで、手直し<sup>てなお</sup>をする箇所<sup>かしよ ずう しょ</sup>が数か所<sup>みな</sup>あるわけですが、皆さん<sup>ごしょうち</sup>、御承知<sup>ほんじつ</sup>のように本日<sup>さいご</sup>が最後の委員会<sup>いいんかい</sup>です。修正<sup>しゅうせい</sup>の内容<sup>ないよう</sup>を協議<sup>きょうぎ</sup>する時間<sup>じかん</sup>がありませんので、前回<sup>ぜんかい</sup>の中間答申<sup>ちゅうかんとうしん</sup>のとき同様<sup>どうよう</sup>、修正内容<sup>しゅうせい</sup>につきましては、委員長<sup>いいんちょう</sup>の私<sup>わたし</sup>と事務局<sup>じむきょく</sup>に一任<sup>いちにん</sup>いただいてもよろしいでしょうか。

い き  
(異議なし)

【林大樹委員長】 はやしひろきいんちょう そうです。委員長<sup>いいんちょう</sup>と事務局<sup>じむきょく</sup>に一任<sup>いちにん</sup>ということで、よろしくお願<sup>ねが</sup>いします。

つづ 続いて、次第<sup>しだい</sup>の2「計画<sup>けいかく</sup>の副題<sup>ふくだい</sup>について」、事務局<sup>じむきょく</sup>より説明<sup>せつめい</sup>をお願<sup>ねが</sup>いします。

【事務局】 じむきょく 本日<sup>ほんじつ</sup>机<sup>きしょう</sup>上に配付<sup>はいふ</sup>しました資料<sup>しりょう</sup>④計画<sup>けいかく</sup>の副題<sup>ふくだい</sup>についてを御覧<sup>ごらん</sup>ください。前回<sup>ぜんかい</sup>の委員会<sup>いいんかい</sup>において、第三次<sup>だいさん</sup>地域福祉<sup>じちいき</sup>計画<sup>けいかく</sup>に副題<sup>ふくだい</sup>を設ける<sup>もう</sup>旨<sup>むね</sup>の御説明<sup>ごせつめい</sup>をさせていただき、短い時間<sup>みじか</sup>ではございましたが、委員<sup>いいん</sup>の皆様<sup>みなさま</sup>にお考<sup>かんが</sup>えいただきました。委員会<sup>いいんかい</sup>終了<sup>しゅうりょう</sup>後<sup>ご</sup>にも、委員<sup>いいん</sup>の皆様<sup>みなさま</sup>より副題<sup>ふくだい</sup>の案<sup>あん</sup>を御提出<sup>ごていしゅつ</sup>い

ただき、資料④に記載の5点が候補として挙がっております。本日が最後の委員会となりますので、

委員の皆様は副題を決めていただきたいと思います。5点の副題案からお決めいただくか、新

しい案をお出しいただくか、または今出ている案を組み合わせる新しい案をつくるか、その辺も含め

て御検討いただけますと幸いです。

追加です。前回の国立市第二次地域福祉計画における副題は「だれもがあたりまえに暮らせるまち

くにたち」でございました。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。計画の副題を本日決める必要があるということで、副題

を決める方法をいかにかいたしましょうかということであります。皆様のお手元には、副題案として委員

の皆様より5つの副題案を提案していただいています。この中から選ぶか、あるいはこれ以外の新し

い案がある場合はどうするかということですが、まず、新しい案があるかどうかを伺いましょうか。

質問としましては、この5つの中から選んでよろしいですか。あるいはこの5つ以外に提案がもしあ

りましたら。井上委員、いかがですか。

【井上委員】 新しい案はないです。

【林大樹委員長】 では、この5つの案から選ぶようにしたいと思います。では、どのように選ぶか

ですが、簡単に投票みたいなものがあると思いますが、もしかしたらそれぞれの案に込められた思い

みたいなものを伺うと違うかもしれないですが、どうですか。誰がどの案というのは出していいんです

か、あるいは匿名でやったほうが。

事務局のほうで何か選び方についてアイデアはありますか。



【事務局】 御提案としましては、①から⑤まで皆様に考えていただいたもので、当然何かしらの思

いを込められてお話しいただいたと思いますので、その内容をちょっと伺わせていただいて、名前を

御公表いただく形にはなるんですけども、それを皆様に聞いていただいた上で、これがいいよねと

いう形で決めるのがいいのかなと思っておりますので、①から⑤に対して一言ずついただければと

いうのが事務局からの提案でございます。

【林大樹委員長】 よい提案だと思います。そのようにさせていただいてよろしいですか。

それでは、上から順番に、副題案①を提案された方は。

【井上委員】 地域福祉計画の副題について、「誰もが地域で生まれてから死ぬまであたりまえに暮ら

せるまち くにたち」、施設に入りたくないです。ずっと地域で自立生活をしたいと思います。これがいいです。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。では、順番に。副題案②の方。

【猪爪委員】 分かりやすく、結構、市庁舎のところに横断幕で書いてあったりするんですね。そ

ういうときに、はっきり分かりやすい文章で、きちんとしたイメージが分かりやすいのがいいのかな

と思ってこういう形を取らせていただきました。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。では、③はどなたが……。

【事務局】 多分、②と③、④が猪爪さんからいただいた……。

【猪爪委員】 すみません。私、国立が大好きなもので。国立は、意外と小さくてまとまっていて、

とても温かいイメージがあるんですね。ですので、何となくみんなが分かりやすく、小さいお子さ

んから年配の方まではっきり分かる言葉で、そしてみんなが求めているものは、やっぱり人とのつながりが意外と分かりやすいのかなと思って、こういう形で並べさせていただきました。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。それでは、⑤はどなたでしょうか。

【山路委員】 この地域福祉計画も含めて、様々な医療、介護、福祉の関係は、共通しているのは安心して住める、暮らせるということが1つの共通項だと思うのですが、地域福祉の地域福祉たるゆえんというのはやっぱり個別支援というか、個々人に寄り添うという言葉がよく使われますけれども、そういう個別的な状況も、やっぱり支援していくという意味を、さらに安心をプラス込めるのが地域福祉ではないかという意味で、「安心して自分らしく暮らせるまち くにたち」としてはどうかという提案です。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。委員の皆様、選べましたか。もし何かそれぞれの案に質問とかがあったら参考になるかもしれませんが、いかがでしょうか。

では、多数決をせざるを得ないかと思いますが、金子委員、何か選び方で

【金子委員】 多数決で少し絞っていくというのはありかなという気もするんですけども、その中で選んだ理由みたいなところを確認していくというやり方で、少し絞っていくという感じはいかがでしょうか。その中で、ひょっとしたらこういうふうに組み合わせたほうがいいかなということが出てきたりということもあるのかなと思うんですが、いかがでしょうか。

【林大樹委員長】 少しずつ絞り込んでいくというやり方ですか。皆さんに手を挙げていただいて、誰も手を挙げなかったのを落としていくみたいな感じですか。

【事務局】 それもいいかもしれませんが、それか委員さん1人ずつに何番がいいですと言っていた  
だいて、意見があれば一言言っていたらいいかなと思っています。

あと、ここで今思いを聞かせていただいた理由というのがもう一つ実はございまして、これは議事録  
にきちんと残りますので、そういった意味では、皆様が込められた思いというのは文字にちゃんと残  
っていくというのも一つございます。なので、ここで5つ出してもらった意見というのは、少なくと  
もそういう形で残っていきなりするものになりますので、正直、どれが選ばれてもという言葉より  
は、どれを選んでもいいのかなと思いますので、皆様の本当に率直な御意見ですとか、こういう観点  
から副題はこれにしたほうがいいんじゃないかというところで、ぜひ一言ずついただきながらお答え  
いただければと思いますので、どうでしょうか。委員長、よろしくをお願いします。

【林大樹委員長】 事務局からのアドバイス、助かります。そうですね。やはり発案者だけではなく、  
これをどう受け止めたかというのも大事かもしれないので、皆さんから、どれが気になるというか、  
これがいいとかという案について、意見というか感想を述べていただいて、それを参考に選んでいけ  
たらと思います。

座っている順番で申し訳ないのですが、曾根委員から、ぐるっと反時計回りで。

【曾根委員】 どれもすてきなサブタイトルだなと思って読ませていただいたので、地域福祉計画は  
やっぱり住民参加といいますか、住民が主体的に関わるというのが1つ必要なと思っていて、そ  
うすると、私は副題案②「みんなの幸せに應えるまち くにたち」というと、市役所が應えるとい  
う、ちょっと住民というより役所のほうが主体になっている感じがあるかなと思って、だから、「み

みんなで幸せをつくるまち くになち」とすると、住民のほうがつくるというニュアンスになって、

住民の主体性みたいなものが出せるかなと。

すみません、本当はこの中から選ばなければいけなかったんですけども、猪爪さんのをちょっと

修正させてもらって、そういうのはどうかと。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。5つから選ぶと言いましたが、この5つの中でより改善

というか、豊かな内容にできたらとてもいいので、曽根委員からの「みんなで幸せをつくるまち く

になち」も加えて選んでいただければと思います。ありがとうございます。

【猪爪委員】 私は自分のことをさておいて、やっぱり「安心して自分らしく暮らせるまち くになち」

がいいかなと。やっぱり目的からして安心という言葉が入るのは一番いいのかなと思いました。

わたし  
私は⑤で。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。山路委員。

【山路委員】 推薦していただいてありがとうございます。私は、先ほど申し上げた意見ですので、

「安心して自分らしく暮らせるまち」と、地域福祉計画という性格からするとしたほうがいいのでは

ないかということです。

【藤沢委員】 いまだに迷っているところでございますけれども、自分が好きなのは、何番というよ

りは、「あたりまえに暮らせる」という言葉と、「想いが繋がる」という言葉が好きで、迷っているところ

でございます。

【林大樹委員長】 この2つを結合する、つなげる案もあるかもしれない。

【高橋委員】 聞くと迷ってしまいますね。私は、⑤が、今回の第三次ですと話してきた自分だけが頑張らなくていいという、最初から話に出た自助、共助の話とか、先ほど出ていた子どもを産んだら、産み育てなくてもいいという話、みんなで地域で助け合うんだということからいくと、安心してというのが今回自分にはしっくりくるキーワードなので、⑤かなと思っていたんですが、先ほどの曾根委員から出たみんなで作るというのはすごく能動的だなと思って、とても国立らしい気がしてきました。迷い始めているんですけども。

【林瑞哉委員】 ⑤がとても優しくいいような印象を受けます。ただ、私、2番目としては、副題②が好きです。応えるまち、国立市って結構いろいろ応えてくれるんですよ。小さい市だからこそ、みんなが応えてくれるとか、寄り添ってくれるとかというような、そういう印象が強いので、⑤もいいんですけども、副題②も好きです。

【井上委員】 「誰もが地域で生まれてから死ぬまであたりまえに暮らせるまち くにたち」がいいです。

【山口委員】 私、どうしても第二次計画の副題「だれもがあたりまえに暮らせるまち くにたち」というのがすごくしっくり来ていて、当たり前前に誰もが暮らせるというのがすごくいいので、いいなと思っているんですけども、同じではやっぱり代わり映えがしないので、変えるとすると、暮らせるまちというのはいいなと。副題案の①もいいんですけども、長くなってしまって、内容的に第二次とダブっている部分が多いものですから、それで副題②と③は国立の内容、状況をしっかり伝えていける部分があって、思いとしては④の「生き続けられる」と「あたりまえに暮らせる」、「生まれてか

ら死ぬまで」みたいなとかを<sup>かんが</sup>考えていくと、<sup>ふくだいあん</sup>副題案⑤に<sup>だいたいしゅうやく</sup>大体集約されるのかなと思<sup>おも</sup>ってさっきから  
み  
見ているところでございます。

【金子委員】<sup>かねこいいん</sup> ほとんど<sup>でつ</sup>出尽くした<sup>かん</sup>感があるんですけども、やっぱり「だれもがあたりまえ」にと  
いうのがすごくしっくりくる<sup>かん</sup>感じがして、でも、それより<sup>すこ</sup>少し<sup>すす</sup>進んだほうがいいんだよなという  
ことを<sup>かんが</sup>考えたときに、<sup>あ</sup>当たり前<sup>まえ</sup>前から<sup>じぶん</sup>自分らしくというんですか、<sup>すこ</sup>少しそこをステップアップできるよ  
うなイメージになるといいのかなというので、④か⑤かなというイメージを<sup>わたし</sup>私<sup>も</sup>は持っていました。

例えば⑤だったら、「だれもが<sup>あんしん</sup>安心して<sup>じぶん</sup>自分らしく」とか、「<sup>あんしん</sup>みんなで安心して」とか、ちょっと付  
<sup>たど</sup>け加えるとあれなのかなと思<sup>おも</sup>ったりもしたんですけども、<sup>きほんてき</sup>基本的には<sup>だいにじ</sup>第二次のサブタイトルがすご  
くしっくりくるので、それをちょっと<sup>の</sup>伸ばしていくみたいなイメージのものになるといいなというこ  
とで<sup>かんが</sup>考えてみました。

【林大樹委員長】<sup>はやしひろきいいんちよう</sup> ちょっと手<sup>て</sup>を加えてという案<sup>くわ</sup>を今<sup>あん</sup>言われたかと思<sup>おも</sup>うんですが。

【金子委員】<sup>かねこいいん</sup> ⑤のイメージで。

【林大樹委員長】<sup>はやしひろきいいんちよう</sup> ありがとうございます。どうしましょうか。

【事務局】<sup>じむきょく</sup> 皆様、<sup>みなさま</sup> ひとり<sup>ひとり</sup> ひとり、<sup>ほんとう</sup> 本当は<sup>いいんちよう</sup> 委員長も言<sup>い</sup>っていただければよ  
かったのですが、今<sup>いま</sup>のお話<sup>はなし</sup>の中では、<sup>なか</sup> 曾根委員<sup>そねいいん</sup>がお話<sup>はなし</sup>いただいた②の変更<sup>へんこう</sup>、<sup>しゅうせい</sup> 修正をかけたものと、

<sup>ふくだいあん</sup> 副題案⑤の「<sup>あんしん</sup>安心して<sup>じぶん</sup>自分らしく<sup>く</sup>暮らせるまち <sup>く</sup>にたち」というところですが、そこに今<sup>いま</sup>、<sup>かねこいいん</sup> 金子委員  
<sup>すこ</sup> が少し<sup>さいご</sup>最後に<sup>しゅうせい</sup> 修正というか、<sup>はい</sup> こういうふうにしたほうがいいんじゃないかというのが入っていたの  
で、<sup>いく</sup> 幾つかのものの<sup>く</sup> 組み合わせ<sup>あ</sup> になってしまおうんですが、「<sup>あんしん</sup>安心して<sup>じぶん</sup>自分らしく<sup>く</sup>暮らせるまち <sup>く</sup>にた

ち」をベースとするならば、例えばですけれども、「誰もが地域で安心して自分らしく暮らせるまち  
くにたち」とかが、皆様のお話を聞いている限りでは思いが入っているかなと、事務局は勝手に思い  
ましたので、どうでしょうかという御提案だけさせていただきます。

【林大樹委員長】 今、事務局からの少し発展させた案は、「誰もが地域で安心して自分らしく暮らせ  
るまち くにたち」でしょうか。それも含めていかがでしょう。

今案でいいかどうかということですが、うなずいている方がいるんですが……。事務局、どうぞ。

【事務局】 今のはこちらで提案させていただきましたけれども、やはり⑤は山路委員に出していた  
だいているので、山路委員もそれでよければそれだけ伺わせていただければと思います。

【山路委員】 修正していただいた事務局案について、さらに修正という形になって申し訳ない  
ですが、地域福祉計画ですから、「地域で」は要らないと思います。それから、「誰もが」というのは  
前回のサブタイトルについていますので、何人かの皆さん方の意見を伺うと、「みんなが」のほうが  
いいと思いますね。「みんなで安心して自分らしく暮らせるまち くにたち」にするのかどうかとい  
うことを付け加えさせていただければと思います。

【林大樹委員長】 山路委員がさらに手直しをした案は、「みんなが」ですか。

【山路委員】 「みんなで」でも、どちらでも。ちょっと微妙なところですが。

【林大樹委員長】 「みんなが」か「みんなで」ですが、「みんなが安心して自分らしく暮らせるまち  
くにたち」、もう一つ、「みんなで安心して自分らしく暮らせるまち くにたち」ですが……。 「みんな  
で」より「みんなが」のほうがすかね。

いま  
今いろいろとやってたどり着いたところは、「みんなが安心して自分らしく暮らせるまち くにたち  
ち」ですが、いかがでしょうか。

いのうえいん  
井上委員、いかがでしょうか。

いのうえいん  
【井上委員】 「みんなが安心して自分らしく暮らせるまち くにたち」です。いいです。

はやしひろきいんちよう  
【林大樹委員長】 ほかの委員も今の案でよろしいですか。それでは、いろいろとこうというのが、三人  
よもんじゆちえ  
寄れば文殊の知恵みたいなことで、みんなで知恵を出し合うといいのができるなと思いました。

それでは、「みんなが安心して自分らしく暮らせるまち くにたち」に副題を決定したいと思います。

じかんちか  
1時間近くたっていますが、そんなに時間がかからないで終わると思いますので、休憩は入れない  
すすおも  
で進めたいと思いますが、いいですか。

それでは、副題を決定いたしました。

つづしだい  
続いて、次第の3「国立市第三次地域福祉計画答申（案）の確認」についてです。事務局、説明を  
ねが  
お願いします。

じむきょく  
【事務局】 それでは、本日机上配付させていただきました国立市第三次地域福祉計画答申（案）を  
ごじゅんびほんとうしんあんきのうごぜんちゆうけいかくそあんへんこうてんごいけん  
御準備ください。本答申案は、昨日の午前中までに計画素案からの変更点について御意見をいただい

ないようはんえい  
た内容までを反映しているものでございます。本日議論いただいた意見等は反映されておりませんの

こんごじむきょくいんちようちょうせい  
で、今後、事務局と委員長で調整させていただきながら、最終的に答申案を作成したいと思ってお  
ります。

さきごいけん  
先ほど御意見いただいた内容で、課題5のアルコール依存症の「アルコール」を取るところですと



か、課題9のひきこもり等のところに「依存症」を入れる、それからメンタルヘルス不調については、

それを招いているというような文言修正、そういった文言修正をさせていただきながら、最終的な

答申案を作成していきたいと考えております。

ということで、先ほど委員長からもお話しいただいたとおり、今後につきましては、委員長と事務局

に一任いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。それでは、委員長と事務局で答申案の修正を行い、

最終的な答申をつくり上げていきたいと思っております。

続きまして、次第4「市長への答申について」、事務局、説明をお願いします。

【事務局】 本日の議論の中で、答申の内容につきましてほぼ固まりましたので、今後、市長へ計画

の答申を行っていきたく思っております。現状、答申を行う日程でございますが、2月3日（金）

の午後1時30分から、市役所2階の市長公室で実施予定でございます。現在、委員会を代表しまし

て林大樹委員長に御出席いただく予定でございますが、委員の皆様の中で御出席を御希望の方はいら

っしゃいますでしょうか。もし御都合がつけば。

【井上委員】 行きたいです。

【林大樹委員長】 行きましょう。

【事務局】 ほかの委員の方はいかがでしょうか。

それでは、答申に御出席される林委員長と井上委員につきましては、5分前の1時25分頃に市役所

2階の市長公室までお越しいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

はやしひろきいんちよう  
【林大樹委員長】 ありがとうございます。

さいご しまい た じむきょく せつめい ねが  
最後に、次第5「その他」について事務局、説明をお願いします。

じむきょく こんかい れいわ ねん がつ ぜんぶ かい いいんかい ごしゅつせき まこと  
【事務局】 今回、令和3年11月から、全部で9回の委員会に御出席いただきまして誠にありがと

うございました。委員の皆様におきましては、大変お忙しい中、事務局からお渡しする膨大な資料に

ついて確認していただいたり、事前の課題をお願いしたりと御協力いただくことが多々ございまし

た。深くお礼申し上げます。委員の皆様の御協力やお力添えもございまして、計画どおり、答申まで

作成することができました。事務局一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、その他についてでございますが、今後のスケジュールでございます。先ほどお伝えのとおり、

2月3日（金）午後1時30分に市長へ答申を行います。その後、計画案を作成しまして、庁内での

合意を経た後、3月議会の福祉保険委員会において、本内容の報告を行い、計画策定を行ってまい

ります。印刷製本につきましては、4月以降順次進めていき、完成次第、委員の皆様にご送付させてい

ただきたいと思っております。あわせて、令和5年度には、本日の第三次地域福祉計画のわかりやす

い版について、少し当事者の皆様と力を合わせて作成させていただきたいと思っております。よろし

くお願いいたします。

また、本日の議事録に関しましては、完成次第、委員の皆様にご郵送させていただきます。内容を御確認

いただき、修正等がある場合は御連絡いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします

す。

はやしひろきいんちよう  
【林大樹委員長】 ありがとうございます。全体を通して質問はありますでしょうか。

【山路委員】 やまじいん れいわ ねんど ことし がつ はっこう  
令和5年度ということは、今年の4月から発行するということになるんですね。そう

しますと、いま ごせつめい ぎかい がつぎかい  
今の御説明では、議会は3月議会ですね。できることならば、いま おも

いますが、しほう わ の どうぜん おも  
市報にできるだけ分かりやすくきちっと載せていただくのは当然のことだと思いますけれ

ども、しほう のほんとう がつ がつ の  
そうすると市報に載せるのは、本当だったら3月か4月に載せるのがいいんでしょうけれども、

がつぎかい しょういん え はや がつ がつ しほう  
3月議会で承認を得るといことになれば、早くても5月か6月の市報ということになるので、ちょ

っと遅くなるんじゃないかと思うんですが、こま もう わけ てん  
細かいことで申し訳ないんですが、その点はいかがでし

ょうか。

【事務局】 じむきょく いいんかい ほうこく かたち と がつちゅうじゅん ほうこく ごいけん  
委員会へは報告という形を取りますので、3月中 旬の報告となります。そこでの御意見

とかそういったものをいただきまして、ご けいかくしたい けつてい けっさいこうい おこな  
その後、計画自体の決定は決裁行為をもって行っていきます

ので、いま やまじいん はな じぜん じゅんぴ すく がつ かごう  
今、山路委員のお話しいただいたところは、事前に準備をして、少なくとも4月20日号とか、

さいてい がつ にちごう へん じゅんぴ じむきょく  
最低でも5月5日号、そこら辺までにはそういったものが準備できるようにしておこうかなと事務局

としては かんが  
考えております。

【山路委員】 やまじいん わ  
分かりました。

【林大樹委員長】 はやしひろきいんちよう  
ほかにございますか。よろしいでしょうか。

ごしつもんどう ほんじつ さいご いいんかい いいん みなさま ひとことかんそう  
御質問等がないようでしたら、本日が最後の委員会となりますので、委員の皆様より一言感想をい

ただきたいと思います。おも こんど まわ やまぐちいん じゅんぱん ねが  
今度はこっち周りで山口委員から順番にお願いできますでしょうか。

【山口委員】 やまぐちいん ぶぶん おく ぶか ぶぶん へんきょう あたら  
イメージしていた部分よりすごく奥が深い部分まで勉強させていただいて、新しい

はっけん ほんとう きかい わたし なか たいせつ  
発見とかがたくさんありました。本当にありがとうございました。この機会を私の中でも大切にしてい

いきたいと思っております。

【林瑞哉委員】 ありがとうございます。ぜひ「みんなが安心して自分らしく暮らせるまち」になればいいかなと願っております。ありがとうございます。

【高橋委員】 初めての参加ということと、あまりにも取り扱う範囲が、普段の私の仕事の範囲より広過ぎてなかなかついていけない1年であったなど。あと1年あったらまた違うんでしょうけれども、そんなことをしたら計画が全然出来上がらないので、これは本当にいい勉強をさせていただいて、日頃の国立のまちづくりに私も何か実践していけたらと思っております。本当にありがとうございました。

【藤沢委員】 1年間、本当にありがとうございました。非常に幅広くて、本当に私にとっては大変難しいことで、ついていくのが精いっぱいだったなどという感想でございます。たくさん勉強させていただいたことは、これからの私の民生委員活動のほうに生かしていきたいと思っております。どうもありがとうございます。

【山路委員】 本当に私も改めていろいろ勉強させていただいたことが多々ありまして、いい議論になったんじゃないかと改めて思っています。ありがとうございました。

【猪爪委員】 市民の立場からいろんな形でサービスを勉強させていただく機会を得たのと、それから、それを利用して市民としても動ける方法がいろんな形であるんだということを勉強させてもらいました。とても有意義で楽しい時間でした。ありがとうございました。

【曾根委員】 市外というよりも、都外から参加させていただきまして、私は埼玉県東松山市に住ん

でいるので、平日の夜に委員会を開いて、働いている人も参加しやすいようにという配慮ですとか、  
あるいは井上晴菜さんの参加、私は井上さんが会議に参加しているところが一番関心があって引き受  
けさせていただいたんですけども、本当に幅広い人が参加してこの計画をつくっているんだなとい  
うことを実感させていただきました。

また、多くの自治体がコンサルを使って計画をつくっているところ、こちらは本当に手づくりで計画  
をつくらうとして、本当にいろいろなことを、細かいところまで大切にされているんだなということ  
をすごく実感させていただきました。この計画が、今度は実行性を持って国立のまちづくりがさらに  
進むことを願っております。どうもありがとうございました。

【井上委員】 地域福祉計画の資料を読みました。文章を書きました。議事録チェックをしました。  
頑張りました。会議はどきどきしました。これからも勉強しましょう。オー。策定委員会、勉強し  
ましょう。楽しかったです。ありがとうございます。

【金子委員】 委員長はじめ、事務局の皆さんの御協力を得て、皆さんのお力を得て、何とかここ  
にこぎ着けてよかったなと思っております。計画の中で、関係機関ということで、社会福祉協議会の  
名前がたくさん挙がっております。たくさんのお名前をもらったなということで、戻りまして、国立市  
と一緒に進めていけるように頑張りたいと思います。どうもありがとうございました。

【林大樹委員長】 どうもありがとうございました。地域福祉というのが、先ほど皆様からも出てき  
たように、とても広くて、そして深いということをつくづく感じました。だから、なかなか何がポイ  
ントかというのをつかむのが難しいと思うのですが、今日、「安心して暮らせる」というところにた

どりついたので、そこが<sup>ちいきふくし</sup>地域福祉の<sup>ちゆうしん</sup>中心なのかなと思<sup>おも</sup>いました。

ということで、つたない<sup>しんこう</sup>進行で<sup>もう</sup>申し訳<sup>わけ</sup>なかったのですが、ここまで<sup>つ</sup>たどり着<sup>つ</sup>きましてほっとしてお  
ります。どうもありがとうございました。<sup>はくしゅ</sup>(拍手)

では、これで<sup>だい</sup>第9回<sup>かい</sup>国立市<sup>にたちし</sup>地域福祉<sup>ちいきふくし</sup>計画<sup>けいかく</sup>策定<sup>さくてい</sup>委員会<sup>いいんかい</sup>を終<sup>しゅうりょう</sup>了<sup>りょう</sup>します。ありがとうございます。